

令和 2 年度 第 10 回定例会（12 月会議）一般質問

令和 2 年 12 月 10 日

質問 順	議員氏名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の 相手
1	中城峯雄	御船町都市計画マスタープランの今後の取り組みについて	(1) 国道 443・445 号両バイパス沿線や都市計画道路沿線などの幹線道路の機能を活かした商業・業務施設の誘導をどう考え、どのような施策を講じるのか。 (2) 御船インターチェンジ周辺や小池高山インターチェンジ周辺また、御船都市計画区域外の上野吉無田インターチェンジ周辺を産業振興拠点として位置づけているが、どのように図り、どのような施策を講じるのか。 (3) 住宅市街地として、既存市街地内での人口の受け皿の確保をどう考え、どのような施策を講じるのか。 (4) 農地のあり方として、今後、企業が進出し、町が発展していくなかで、必要性の高い開発があれば、部分的に農地を開発する必要がある場合も想定されるが、どう考え、どのような施策を講じるのか。 (5) 観光やレクリエーションの場として、町の自然（例えば森林など）を活用する考えはないか。 (6) コストコ開業後の、「まちづくり」の将来像はどのように考えているか。	町 長
2	福本 悟	1 防犯灯の整備計画及び維持管理について	夜間の犯罪や事故等を未然に防止し、安心安全なまちづくりのために大きな役割を果たしている防犯灯。本町においても、町道をはじめ数多く防犯灯が設置されているが、3つのインターチェンジや国・県道を有し企業誘致等に伴い生活基盤が様変わりしようとしている。町長は、この現状をどのように認識し安心して生活できる社会の構築の観点から、防犯灯の整備計画及び維持管理を担当課でどのように論議し、具体的対策をどう講じていく考えであるか。	町 長

		2 地域公共交通の在り方について	地域公共交通とは、自動車を使用しない町民に対して通勤、通学、通院などの移動手段を提供し、日常生活を支えるとされている。本町における公共交通は、路線バスやタクシーなどにより構成され町民の移動手段として利用されている。しかし、自家用車の普及や少子化に伴い利用者は年々減少傾向にある。町長は、この現状をどのように認識し町民の移動手段の観点から、地域公共交通の在り方について担当課でどのように論議し、具体的対策をどう講じていく考えであるか。	町 長
3	増田安至	1 森林環境譲与税と森林管理制度について	(1) これまでの事業実績 昨年度の事業実績はどうか。 (2) 10 か年推進計画と展望 ・地籍調査が終わっていないなか、今後の計画はどうか。 ・税の使い道はどう考えているか。 ・林業の担い手不足への対応はどうか。 (3) 町の定住促進策 林業従事者の定住促進はどうか。	町 長
		2 コロナ対策の総括について	この1年を通しての総括 ・財政的な側面からの課題はどうか。 ・組織的な側面からの課題はどうか。 ・技術的な側面からの課題はどうか。	町 長
		3 災害時の対応について	(1) 自主防災組織の現状と課題 組織の活用方法をどのように検討されているか。 (2) 備品消耗品の継続的な支援 町購入備品と地区別購入備品が用意されたが、次年度以降はどうするか。 (3) 防災無線の課題 音声聞き取りが難しい。前回質問の後にもいろいろ意見を頂く。どのような対応を検討されてきたか。 (4) 防火水槽の多目的利活用 防火水槽の整備が進んでいる。町の整備状況と充足はどうか。また、防火水槽の活用方法など検討されていないか。	町 長

4	宮川一幸	1 中山間地域の農地保全対策について 2 防犯灯の設置及び管理について	御船町において農業は一つの基幹事業と言われるほど重要な産業と位置付けられてきた。しかし、農業に従事する現場では年々高齢化が進み、農地の耕作放棄地化が急激に進み深刻な問題となっている。 また、農地は、農業的に利用することで、農産物の生産供給のほか、地下水の保全、洪水防止など多面的機能を発揮している。 農地が耕作放棄地化すると、災害の発生や雑草木の繁茂、病虫害の発生など周辺への影響が生じてくる。 かけがえのない優良農地を保全し、地域農業を振興してゆくためには、農地の耕作放棄地化を防止・解消して、農家の営農継続を図ってゆくことが重要である。 そこで、中山間地区における農地保全対策について問う。 ・農地等災害復旧事業について 中山間地域では、高齢化が進み、地域での設置及び管理が難しくなっているのが現状である。 そこで、御船町防犯灯の設置及び管理について問う。 ・御船町防犯灯設置に関する規則について	町 長
5	岩永宏介	本町の各小学校及び中学校における児童生徒の不登校問題及び児童生徒に係るいじめの問題について	去る10月22日、文部科学省は「2019年度問題行動・不登校調査」の結果を公表した。それによると不登校者数といじめの件数はともに過去最多であった。 これを踏まえて、本町の各小学校及び中学校におけるいじめの問題と不登校問題の現状について、以下の点を中心に問う。 (1) 過去5年間の不登校者数といじめの件数 (2) 不登校の原因とその対応等 (3) 各校のいじめ問題への対応等 (4) 道徳科でのいじめ問題の取り扱い (5) いじめ問題に関する研修会等(教職員・保護者など) (6) 町教育委員会のいじめ問題への対応	町 長 教育長

			(2) 工事契約後に係る提出書類について (3) 施工体制及び一括下請けについて (4) 工事変更契約（工期含む）について (5) 今後の入札形態について	
9	田上英司	1 竹バイオマス事業の原点について（その1） 2 入札の透明性の確保について	(1) 竹バイオマス事業の歴史的背景は何か。 (2) 竹バイオマス事業の狙いは何だったのか。 (3) 御船町竹資源開発会社への交付金事業の流れは。 (4) 交付金返還に至った経緯は何か。 (5) 交付金返還までの経緯説明を。 (6) 交付金返還の方法はどうやったのか。 (7) 町は竹バイオマス事業成功を望んでいたのか。 透明性の対策は検討されているか。	町 長 町 長